

スクリューの製作は過去にも経験がありましたが、今回は羽根をテーパ状にすることで難易度を上げて羽根のピッチ精度を出す事を追求しました。設計ではC形になった羽根の寸法を出すところで何度か失敗しましたが、調整を繰り返し精度を出す事が出来ました。溶接工程では径の異なるC型のプレートが5枚接合し、両端部分を固定し少しずつ伸ばしていきませんが、テーパ状になっているため均等には伸びないという難点があります、芯棒と羽根の隙間を溶接しながら各間隔ごとに微調整を行います。仕上げではビートカットを行い芯棒と羽根が一体化しているかのように磨き上げました。

